



### レイク・H・バレット (Lake H. Barrett)

レイク・バレット氏は、米国でエネルギー分野における独立コンサルタントを務めており、機械工学および原子力工学の学位を持ち、大統領や議会から多くの栄誉を受けている。50年にわたって原子力・核物質管理の分野に携わり、現在、福島第一原子力発電所の廃炉のため、IRIDの国際顧問を務めている。それ以前は米国エネルギー省（DOE）にて、放射性廃棄物政策法で定められた使用済燃料と高レベル放射性廃棄物を扱うプログラムを実施している、民間放射性廃棄物管理局の局長を務め、科学的に複雑なユッカマウンテン放射性廃棄物処分場のプログラムを主導し、DOEを退職する前に、同施設の法的選定プロセス後、大統領および上下両院の承認につながった。

同氏は過去に米国 NRC に勤務し、スリーマイル島原子力発電所事故の早期対応に直に関わり、損傷した原子炉の安定化、復旧、クリーンアップを進める際の規制プログラムの責任者である、現地ディレクターを務めた経歴がある。最近では福島原子力発電所事故について米国議会等での報告も行っている。また、DOEの防衛プログラムや商業用原子力発電所を有するベクテル・パワー・コーポレーション（Bechtel Power Corporation）および原子炉や潜水艦システムの設計、運転、廃止措置を手掛けるジェネラル・ダイナミクス社（General Dynamics）のエレクトリック・ボート部門といった民間企業でも活躍し、管理・技術両面で幅広い経験を有している。